

科目区分	専門教育科目	科目名	生活支援技術B		科目コード	17F450	担当者	田川 千秋、植木 明子			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立、自己選択、自己決定を尊重し、潜在能力を引出したり、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて安全に援助できる技術や知識を修得する。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	安全な生活支援技術を習得する。										
2.	その人に応じた潜在能力を引出す方法を考える。										
3.	他職種の役割を理解し協働できる										
4.							○	◎			
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（50%） 臨時試験（10%） 提出物（15%） 受講態度（25%）					
モデル・援助者役を交代で実践する実技演習形式で授業を展開する											
準備学修						課題等への対応					
医学一般・こころとからだのしくみ・リハビリテーション・介護の基本・コミュニケーションなどをしっかり学び、技術習得のためくりかえし練習して下さい。（目安の時間30分程度）						レポートのチェックと試験の評価と再試験による振り返り					
授業計画											
第1回	オリエンテーション 生活支援技術の基本的な考え方の振り返り 自立に向けた排泄の介護③ オムツ										
第2回	自立に向けた身支度の介護① ICFの視点と生活習慣と装いの楽しみを支える介護										
第3回	自立に向けた身支度の介護② 感覚・運動・認知・知覚機能が低下している人の介護										
第4回	自立に向けた身支度の介護③ 整容・爪の手入れ・口腔ケア 他職種との協働										
第5回	自立に向けた入浴、清潔保持の介護① ICFの視点と入浴の意義と目的 爽快・安楽を支える介護 洗髪										
第6回	自立に向けた入浴、清潔保持の介護② 爽快・安楽を支える介護 全身清拭										
第7回	自立に向けた入浴、清潔保持の介護③ 爽快・安楽を支える介護 全身清拭										
第8回	自立に向けた入浴、清潔保持の介護④ 爽快・安楽を支える介護 入浴とシャワー浴										
第9回	自立に向けた入浴、清潔保持の介護⑤ 爽快・安楽を支える介護 足浴・手浴										
第10回	全身清拭手技の振り返り										
第11回	技術試験 全身清拭										
第12回	自立に向けた医療行為の介護② 利用者の状態に応じた介護 点眼・湿布										
第13回	自立に向けた睡眠の介護③ シーツ交換と安眠のための工夫 安楽な体位と寢法・不眠時の対応										
第14回	日常生活を支える技術① バイタルチェック 体温測定 呼吸・脈拍測定・血圧測定										
第15回	体位変換と衣服の着脱の介護の振り返り										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト 「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 中央法規						利用者の安全と安楽を保持しながら、残存能力の活用と自立を支える介護のために必要な技術と、その理由を説明できる知識を習得して下さい					